

領域	問題番号			出題のねらい	評価の観点			
	大問	小問	通番		科学的思考	技能・表現	知識・理解	
A 生物とその環境	①	1	1	石灰水は、はき出した空気によって白くにごることがわかっている。				
		2	2	石灰水にすう空気(まわりの空気)を反応させたときの変化がわかっている。				
		3	3	気体検知管の酸素と二酸化炭素の体積の割合の変化から、はき出した空気を集めた袋がどちらであるかを考えることができる。				
		4	4	はき出した空気を集めた袋がどちらであるかを、気体検知管の酸素と二酸化炭素の体積の割合の変化をもとにして考え、説明することができる。				
	②	1	5	試験管を温めるわけを考えながら、人の口の中ででんぷんがだ液によって消化されることを確かめる実験を行うことができる。				
		2	6	ヨウ素液を用いて、でんぷんがあるかないかを確かめることができる。				
		3	7	実験結果から、だ液のはたらきについて考え、説明することができる。				
		4	8	だ液や胃液など、食べ物を消化する液の名前がわかっている。				
	③	1	9	光を当てないでおいた葉を用いるわけを考えながら、光を当てた葉にでんぷんができてい				
		2(A)	10	かを調べる実験を行うことができる。				
		2(B)	11	でんぷんができていない葉をヨウ素液につけたときの結果がわかっている。				
		3	12	葉に光を当てたときと当てなかったときの実験結果の違いについて考え、葉に光が当たるとでんぷんができることを説明することができる。				
C 地球と宇宙	④	1	13	がけの観察記録と結びつけて、地層の様子を考えることができる。				
		2	14	観察記録とボーリング調査の結果から地層の広がり方を考えることができる。				
		3	15	火山の噴火によって作られた地層に含まれる土の特徴がわかっている。				
	⑤ 選択	A	16	地震によって生じる現象がわかっている。		選択		
		A	17					
⑤ 選択	B	16	火山の噴火によって生じる現象がわかっている。		選択			
	B	17						
B 物質とエネルギー	⑥	1	18	空気を入れかえるために、上と下に空気が出入りする場所が必要であることがわかっている。				
		2	19	ものが燃え続けるために必要な条件を考え、それを説明することができる。				
		3	20	空気中の気体にしめる酸素の割合がわかっている。				
		4	21	「空気中の気体」のものを燃やすはたらきについてわかっている。				
		5	22	酸素の量の違いが燃え方に関係することから、燃え方が違うわけについて考えることができる。				
		6	23	たえず空気を入れかわるようにしてものが燃え続けるようにする方法を身につけている。				
	⑦	1	24	水溶液のにおいの安全なかぎ方を身につけている。				
		2	25	リトマス紙を使った水溶液のなかま分けの仕方を身につけている。				
		3	26	水溶液のなかま分けをするときに使うガラス棒の正しい使い方を身につけている。				
		4	27	実験結果から水溶液の名前を予想し、その水溶液の性質について考えることができる。				
		5	28	水溶液の性質を調べる実験結果から、水溶液の名前を考えることができる。				
						/10	/7	/11

今後の学習に向けて \*自分ががんばりたいところに○を付けましょう。

科学的な思考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題について自分の考え(予想)をもち、観察や実験からわかることやはじめの考えがどのように深まったかを自分の言葉で書くことを大切にしましょう。また、観察や実験の結果がどうなるかという見通しをもちながら追究できるとよいです。</li> <li>・「植物のからだのはたらき」などで学習した「条件に目を向けて計画的に追究すること」や「水溶液の性質とはたらき」などで学習した「様々な事実をもとにして考えること」を大切にしましょう。</li> </ul>
観察・実験の技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リトマス紙や気体検知管など、観察や実験に必要な器具や機器は、自分から進んで使ったり組み立てたりするようにしましょう。また、観察や実験を正しく安全に行うために特に注意する点やそのわけについて考えることも大切です。</li> <li>・教科書にあるノート例や表やグラフの例を参考にしながら、観察や実験の結果をわかりやすくまとめたり、表やグラフで表したりできるようにしましょう。</li> </ul>
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察や実験の結果や授業のまとめなどをただ覚えるのではなく、予想や考察などで自分の考えをノートに書いたり話し合いに積極的に参加したりして、「自分の考えをもつこと」を大切にしながら知識を身につけていきましょう。</li> <li>・「予想」「実験の計画」「考察」などで、それまでに学習したことがらをもとにして考えることを大切に、活用できる知識にしていきましょう。</li> </ul>